

BACH JBL VOLVOへの想い

■ BACH

高校時代の1966年頃、「音楽の父」と呼ばれたJ.S.バッハ（1685-1750）の偉大さを知る。バッハはバロック音楽の様式を他の追従を許さないまでに完成させ音楽様式の流れを古典派へと一変させてしまった。作品は器楽曲、声楽曲とも一聴してバッハとわかる個性と時代を越える普遍性を併せ持っている。以来、バッハは自分の音楽観の基礎となった。

→ 好きなバッハ演奏家

- ・カール・リヒター（1926-1981、指揮者、鍵盤奏者、トマス・カントル）
- ・グレン・グールド（1932-1982、鍵盤奏者）

→ 写真右（2009.6.1、ライブツィヒ、晩年30年近くをトマス・カントルとして過ごした聖トマス教会にて）



■ JBL

パイオニア時代の1973年頃、アメリカ西海岸の青空にも例えられるパワフルなJBLサウンドを体感。同時にクラフトマンシップ溢れるビンテージJBLの美しさに魅了される。クラフトマンシップが趣味の製品においていかに重要であるかを知り大きなカルチャーショックを受けた。1974年（昭和49年）購入。

→ ジェームス・バロー・ランシング（James Bullough Lansing、1902-1949、JBL創業者）

→ 写真下（JBL D123+LE85 Al-Ni-Co 2Way System、DIY）



※左はJBLを鳴らすためのオーディオ機器
PL-L1,C-90a,M-90a

■ VOLVO

1996年、ある自動車用品を通じてスウェーデン工業製品の質実剛健さを知り、後輪駆動ボルボの購入に至った。北欧の理性を体現しつつ機能性を追求した車造りや、熱線入りリアウインドウや3点式シートベルトの発明を始めとした安全性を追求した車造りなど、車の基本的あり方をボルボを通じて教えられた。

→ <http://volvolife.jp/>（ボルボライフ、個人HP、1997年開設）

→ 写真右（2022.12.4、富士見高原塚田山荘にて）

